

令和6年度 技術講習会
地震、災害における軽量盛土の有効性と老朽橋梁の
軽量盛土への更新による長寿命化

日時： 2024年 9月 3日 (火) 13:30~15:45

会場： (株)原商本社西隣スマイルア 2F 会議室

定員： 40名 参加費：無料 CPD：2ポイント

主催 株式会社原商 共催ウレタン土木技術研究会 RBH 技術研究会

我が国における軽量盛土工法は、軽量盛土材として1985年に発泡スチロールを導入して以来、急激に発展してきました。発泡モルタル、ウレタンなど多岐にわたります。

又、近年は大規模地震、想定外の災害が多発しています。

今回は、大規模地震での超軽量盛土の有効性と、災害時の軽量盛土による復旧事例を、EPS工法、現場発泡ウレタン軽量盛土工法を中心に取り上げたいと思います。

一方、我が国においては橋梁の老朽化が社会問題となっており、特に市町村道にかかる橋梁は約50万橋に上り、その対策が急がれております。我が国ではインフラ老朽化への対応として「予防保全」の考えを基本としており、近年では老朽橋梁の桁下空間に軽量盛土材を補強材として設置される事例も増えてきております。

軽量盛土による老朽橋梁の土工化技術(RBH工法)を紹介させていただき、島根県でのインフラの長寿命化として検討していただければ幸いです。

プログラム

13:25~13:30 開会 (株)原商

13:30~14:10 講演1 ヤシタ鋼材(株) EPSの災害復旧事例と大規模地震

14:10~14:50 講演2 ウレタン土木技術研究会 発泡ウレタンの災害復旧事例

14:50~15:00 休憩

15:00~15:40 講演3 RBH技術研究会 老朽橋梁の軽量盛土への土工化技術

15:40~15:50 閉会 CPD交付

講師：ヤシタ鋼材株式会社 代表取締役 山中尚樹

(株)イノアック住環境 児島圭(ウレタン土木技術研究会)

鹿児島大学 准教授 審良善和(RBH技術研究会)

令和6年度 技術講習会 参加申込書



会社名：

1 お役職名：

ご芳名：

2 お役職名：

ご芳名：

3 お役職名：

ご芳名：

申込期限：令和6年8月26日（定員40名で締切致します）

連絡先 株式会社原商 営業開発部 担当：曾田直司

〒699-0496 島根県松江市宍道町白石81-10

TEL :0852-66-1113 FAX0852-66-1124

E-mail n-sota@harasho.co.jp